

2022年5月15日

定時総会資料

作成: 委員長 高橋由樹

1. 上半期事業終了報告

4月と5月でリーグ戦の開催

2. 上半期収支決算報告書

財務委員長より別途資料を参照

3. 各校新三役自己紹介

呼ばれた各校の新三役（主将・女子リーダー・主務）はそれぞれ役職と氏名をお願いいたします。

4. 機関誌 Western について

渉外委員長より

- ・今まで掲載しておりました関西学生アーチェリー連盟の取り組みや事業日程、試合結果はHPに全て掲載されているため、Westernの発行を終了させていただきます。

5. 合同練習会の中止、及びフィールド記録会の廃止について

今年度の合同練習会は実施会場の確保が困難なため中止とさせていただきます。

また、例年7月ごろに開催しておりましたフィールド公認記録会ですが今年から開催を断念いたしました。主な理由は以下の通りです。

- ・参加選手も多くはなく、採算性がないため。昨年の収入18000円に対し会場代などの諸運営費が約4万円
- ・試合運営のための学連員の負担の軽減

参加を希望されていた選手の皆様は申し訳ございません。何卒ご了承ください。

6. 今年度リーグ戦について

昨年同様、オンライン形式でしたが、加盟校の皆様のご協力の賜物で最後まで実施できましたことを衷心よりお礼申し上げます。

しかし、リーグ戦のルール（選手交代連絡の不備、行射開始時間の統一、18射ごとに点数を交換するなど）を知らない大学もあり、点数の集計や試合運営に支障をきたすケースもありました。関西学連もルールの周知徹底をして参りますが、各校の学連員だけでなく、加盟校の新三役の皆様におかれましても、ホームページの資料をご覧くださいようお願い申し上げます。

7. 2023年以降のリーグ戦について

(1) 試合運営方法についての変更点（詳細は未定）

- ・人数不足のため、リーグ戦における第三校の廃止。対戦校同士でホームとアウェイで試合を実施する予定です。

(2) チーム編成人数について

選手の人数は今年同様に、男子は8人中5人、女子は5人中3人の形式を継続する予定です。

(3) 距離について

2021年5月定時総会において、リーグ戦を70mで実施するプランを学連から提案しましたが、当該プランは破棄させていただきます。70mで実施しないというよりは、そもそもできないということです。70mでの実施が不可能であると判断した理由はいくつかありますが、決定的な理由は試合会場の確保ができないことです。以下に、学連内で検討したものの実施が不可能と判断したプランを記載しておきます。

プラン① 「一部校のみ70mで実施する」

→実施が不可能な理由

- ・現在一部校は男女各12校。この中で70mレンジがない大学は、最低でも男女各4校以上ある。3分の1以上の大学が70mレンジを所有していない状況下では試合会場が確保できない。
- ・西日本大会の選考にリーグ戦の点数を活用できない。1部と2部で距離が違えば、選考の統一基準がなくなる。

プラン② 「リーグ戦を廃止して、70mでの王座選考会を開催する」

→実施が不可能な理由

- ・会場が確保できる保証がない
- ・多くの大学がリーグ戦で成績を修めることを目標にしている（1部昇格・残留など）にもかかわらず、リーグ戦を廃止することの妥当性の欠如。昨年、少しでも多くの大学がリーグ戦に出場できるようチーム編成人数を減らしたが、その改革との整合性がとれない。
- ・多くの選手の活躍の場を奪う可能性。

このような現状から、70mでの実施は不可能であるとの結論に至りました。

具体的かつ確実な運営方法が決まっていない状態で 70m での実施についての決議をとることはできません。加盟校の皆様の中には 70m での実施を希望されていた方もいらっしゃるかと存じますが、何卒ご理解の程よろしく申し上げます。

折衷案として、1部2部ともに 50mW での実施についての当否も検討したいので、リーグ戦において、従来通り SH かそれとも 50mW どちらが良いかということについての簡単なアンケートにご協力ください。決議ではありませんし、各大学の意見が大学名を特定できる形で公開はしませんので、お気軽にお答えください。

また、全日学連からの要請のため、各校の主将と主務の「氏名・電話番号・メールアドレス」も併せてご記入ください。回答後は、お帰りの際に学連員に渡してください。